

暮らしの中の国民年金

高齢化社会にそなえて

すべての人があ 国民年金加入

最近、年金制度に対する関心が高まっています。これは、医療技術の進歩等による日本人の平均寿命が驚くほど伸びてきたことと、本格的な高齢化社会を迎えたことの表われだと思います。

私たちは日ごろ元気に働き、家族と楽しい生活を送っているときは、将来自分自身ができるのか、考える人は少ないと思います。

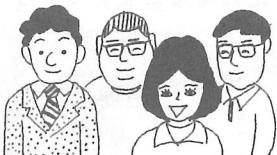
しかし、私たちはだれもが、いずれは年をとり、老後を迎えるなければなりません。長生きできることはありがたいことですが、果たして経済的にはどうなるのでしょうか。充実した老後を送るためには、まず健康な体と確実な経済設計があつてこそ安心できるといふのです。

国民年金制度は、老いて収入がなくなり、あるいは人生の途中で不幸な事故にあつた、個人の力では事前に

十分な準備をしておくことができない事態になつたとき、社会全体の力で生活の安定を図つていこうという国が運営する年金制度です。

これから、ますます高齢化社会が進む中で、長い老後をいかに豊かに生きていくかということは、高齢者自身にとっても、社会全体にとっても大変大事なことだと思います。

若い人たちの中には、老後のことなどまだ先のことと考へている人も多いようです。が、人生八十年時代に備え、



受給者の状況

種類	受給者数	金額
老齢年金	1,782人	537,069,000円
障害年金	115	89,838,000
遺族年金	20	16,378,000
遺児年金	2	809,000
寡婦年金	14	4,993,000
計	1,933	649,087,000

老齢福祉年金	363人	102,043,000円
--------	------	--------------

納付者の状況

種別	被保険者数	保険料額
1号被保険者	4,101人	364,168,000円
任意加入者	35	3,108,000
3号被保険者	785	—
計	4,921	367,276,000

年金制度が、いかに私たちの生活にとって大切であるかをご理解いただくため、本号から国民年金のしくみなどについて紹介してまいります。

つまり、世代間ごとに順送りに協力しあつて行うしくみが、公的年金制度であり、私たちが年をとつたときに、そのとき働ける世代からの保険料を財源として年金の支給を受けることになります。

ちなみに、現在横芝町での年金受給者数と保険料の納付数は、表のとおりとなっています。

年寄りの世代に年金を支給することで、老後の安定を図ることであります。